

医療法人 伯鳳会
はくほう会セントラル病院

はくほうWith

2025

Vol.4

賀正



新年の挨拶

2025/06-MRI更新

地域連携室から

新年のご挨拶

はくほう会セントラル病院 院長 古賀正史



新年明けまして、おめでとうございます。

本年が皆様にとりまして幸福な年でありますように祈念します。

5年前に発生した新型コロナウイルス感染症は世界中に広がり、パンデミック(世界的大流行)を引き起こしました。

新型コロナのパンデミックは昨年に漸く治まり、以前の生活を取り戻すことができました。

前回に経験したパンデミックは100年前のスペイン風邪ですので、殆どの人にとって今回のパンデミックは初めての経験で、色々と戸惑うことが相次ぎました。明治時代には各種感染症のパンデミックが起りましたが、そのころの医学は未熟なために、パンデミックに対して十分な対策を取ることができませんでした。

ところで、今年の夏に久しぶりに新札が発行されました。発行後しばらくの間は新札を見る機会はありませんでしたが、最近では新札を受け取る機会が増えてきました。ご存じのように新千円札には北里柴三郎の肖像が採用されています。彼は細菌学の研究に取り組み、世界に先駆けて種々の重要な発見を行い、「近代日本医学の父」と呼ばれています。

彼は東京医学校(現在の東京大学医学部)を卒業後、有名な細菌学者のロベルト・コッホ教授がいたドイツのベルリン大学に留学しました。そこで、彼は今まで純粋培養が不可能とされていた破傷風菌を嫌気性条件下で培養することにより、初めて純粋培養に成功しました。さらに、彼は破傷風菌が出す毒素を抽出し、その毒素を動物に注射すると死ぬものと、病気になるものに分けられました。病気になるなかった動物を調べると、血液の中に破傷風菌が出す毒素を消す成分が見つかりました。その成分(抗体)を病気の人に注射すると、病気が治すことができたのです。この血清療法はコレラやチフス、赤痢などの治療に取り入れられました。

帰国後、彼は私立伝染病研究所や土筆ヶ岡養生園(現在の北里研究所病院)を設立して、伝染病予防法や細菌学を研究し、結核予防と治療に尽力しました。また、彼は日本医師会を作り、初代会長としてその組織の運営にあたりました。以上のように彼は感染症に対する優れた業績を通じて、日本をはじめ世界の医学の発展に貢献しました。

皆様もこれから新千円札を手にした時に、北里柴三郎の感染症に対する数々の貢献を思い出していただけば幸いです。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

当院のMRIは

2025年6月頃に更新します!!

はくほう会セントラル病院は2025年6月ごろに
SIEMENS Healthineers社製のMRI装置
“MAGNETOM Altea”に更新が決定しました。



SIEMENS
Healthineers



第1Point 70cmオープンボア

従来装置に比べてガントリーボア径が10cmも広くなりました。開放的な環境で、より楽な体位で安心して検査をお受けいただくことが可能です。

第2Point 最新技術による撮影時間短縮と画質向上

検査効率と画質をともに高めるコイルシステムや新しい処理技術による高速撮像が可能で検査時間が大幅に短縮されます。



従来: 3分30秒

最新: 2分00秒



今後詳しく装置情報を発信していきます!

当院ホームページにて 相談受付フォームを開設しました



いつも回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟への入院(転院)のご相談をいただきありがとうございます。

2024年11月より当院の相談方法を追加させていただきました。

電話での聞き取りと対象医療機関からのケアブックでの相談に加え
新たにホームページにも相談受付フォームを作成いたしました。

是非、ご活用くださいませ。

- ①「当院はくほう会セントラル病院」のホームページへアクセスしてください。
- ②「医療連携」のタブを選択し 医療関係者様を選択してください。
- ③「相談受付フォーム」をクリックし、情報を入れて送信をお願いいたします。
- ④診療情報提供書、看護サマリー、お薬情報、検査データなど
FAXにてご送付ください。



情報を確認し、医師の入院判定後、速やかにご連絡いたします。

(判定は随時確認しております。)

電話での相談の際にお時間を取らせる事が多く

ご迷惑をおかけしていた事が少しでも解消されると考えております。

なお、当日の転院のご相談は、従来の電話対応でさせていただきます。

ご不明点などございましたら地域連携室までお問い合わせください。

今後ともよろしく願いいたします。

お問い合わせ先

はくほう会セントラル病院
地域連携室

06-4960-6820 (直通電話)

06-4960-6707 (直通FAX)

<https://amahakuho.jp/>

病院ホームページのご案内

はくほう会セントラル病院では、ご利用いただく全ての方々に、見やすく、分かりやすく情報をお伝えできるように、ホームページ、SNSを随時更新しております！
また、日々更新、最新情報を掲載するように努めています。



スマホをお持ちの方はQRコードから

はくほうかい

<https://www.amahakuho.jp/>

facebook

(Facebook, Inc.)

Instagram



おせっかいが世界を変える

おせっかいはありがた迷惑とも言われますが、相手に喜んでほしい、何かしてあげたいという行動です。



プラスハートアクションとは「お手伝いをする、したい人」にマークがあれば、「助けを必要としている人」と「お手伝いをする、したい人」がお互い声をかけやすくなり、助け合いが当たり前になる世の中を作っていくと発案された運動であり、信頼・調和・ゆらぐことのない愛を意味する♥をシンボルとしています。
私たちは、マスクに♥をつけてこの運動を発信しています。

再エネ100宣言

RE Action

RE Actionは、2050年までに再生可能エネルギーで事業のエネルギーの100%を賄うという取り組みです。

伯鳳会グループは、全国の医療業界からただ一つのスターティングメンバーとして、この取り組みに参加しました。

病院から訪問可能なサービスが増えました！



在宅でのお困りごともお気軽にご相談ください！！

【編集後記】

旧年中は格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。当院では、「平等医療・平等介護」を理念に、地域に根差した医療提供に努めてまいりました。特に注力したのは、高齢化社会のニーズに対応する在宅事業の充実です。

6月には、訪問看護ステーションを立ち上げ、より多くの患者様のご自宅に訪問できる体制を整えました。看護師だけでなく、理学療法士や作業療法士もチームに加わり、多職種連携による質の高いケアを提供できるようになりました。

患者様やご家族様から「安心して自宅で過ごせるようになった」「生活の質が向上した」といった喜びの声を多くいただくことができました。

今後も、地域に密着した病院として、患者様のニーズに応えられるよう、在宅事業をはじめとする様々なサービスの充実を図ってまいります。そして、地域全体で連携を深め医療福祉の向上に貢献できれば幸いです。

はくほう会セントラル病院 広報委員会



医療法人伯鳳会
はくほう会セントラル病院
兵庫県尼崎市東園田町4丁目23番1号
TEL:06-4960-6800(代表)
FAX:06-4960-6900